

**大丸札幌店内の各施設において、混雑状況を AI が解析してリアルタイムに一覧表示
～館内施設のスムーズな周遊を可能にする「スマート百貨店」の実現に貢献～**

東日本電信電話株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:井上 福造、以下、NTT 東日本)、株式会社バカン(本社:東京都千代田区、代表取締役:河野 剛進、以下、バカン)は、株式会社大丸松坂屋百貨店の札幌店(以下、大丸札幌店)において館内 Wi-Fi、IoT および AI を活用し、各施設(地下1階～8階)の利用状況をサイネージやスマートフォンへ一覧表示するサービスを、2018年12月1日(土)から提供します。

1. 本取り組みの背景と目的

大丸札幌店では、平日はもとより週末や長期休暇シーズンでは、各階カフェ・レストラン街に加え、その他館内施設においても待ち時間が長くなっており、こうした混雑状況は実際に足を運ばなければ把握できないため、お客さまが効率的に店内を周遊するにあたっての課題でした。

本サービスは、大丸札幌店の「レストラン」と「各階カフェ」に加え、「トイレ」、「授乳室」等の混雑状況を、IoT と AI の活用によりリアルタイムで解析・配信(国内百貨店初^{※1})することで、館内施設を周遊されるお客さまの負担を軽減し、「スマート百貨店」の実現に貢献いたします。

※1 「各階カフェ」と「トイレ」以外の複数施設において空席検知サービスを同時に開始するのは、国内百貨店で初となります。3社調べ(NTT 東日本、バカン、大丸札幌店)

2. 本取り組みの概要

大丸札幌店内の各施設に設置したカメラやセンサーから取得したデータをクラウド上の AI で解析することで、混雑情報^{※2}を割り出します。

各施設の混雑情報^{※2}は館内各フロアのサイネージにリアルタイムで一覧表示するとともに、Web 上にも配信するため、お客さまが所有するスマートフォン等からもご確認いただけます。

※2 混雑情報は3段階(「空」、「残数わずか」、「待ち時間<満席の場合>」)で表示

<サイネージ表示画面イメージ>



<スマートフォン表示画面イメージ>



(1) 対象施設

施設名: 大丸札幌店(地下1階~8階)

住所: 北海道札幌市中央区北5条西4丁目7番地

混雑検知エリア: 各階カフェ(地下1階、3階、4階、5階、7階)の5店舗

レストラン(8階)の15店舗

トイレ(地下1階~8階)

-男性用トイレ計17室

-女性用トイレ計58室

免税カウンター(8階)

授乳室(4階)

ベビーカーの貸し出し(1階)

ギフトセンター(7階)

レストスペース(6階)

駐車場

(2) 開始時期

2018年12月1日(土)~

3. 各社の役割

<NTT 東日本>

本サービスの提供に必要な「フレッツ光」、「ギガらくWi-Fi」の提供と運用サポートを実施します。また、バカンが提供するカメラやセンサー等のIoT機器に加え、取得したデータを蓄積およびAIで解析するクラウドについても、NTT 東日本がワンストップで運用サポートします。

<バカン>

上記のカメラやセンサー等のIoT機器とクラウド上に搭載したAIを活用し、飲食店の混雑状況を検索できる空席情報プラットフォーム「VACAN」、およびトイレの混雑状況を検索できる空席情報検索プラットフォーム「THRONE」(スローン)の提供を行います。

4. 今後の展望

NTT 東日本、バカンの2社は本施設における導入効果を基に、混雑把握技術の向上や新しい商業施設向けソリューションの開発に向けた協業^{※3}を加速していきます。

※3 バカンは、NTT 東日本が開催している「アクセラレータープログラム」(<https://www.ntt-east.co.jp/collaboration/>)に参加し、協業を開始しております。